

番号	1		
一般教育科目	人文科学	哲学及び倫理学	
授業名	哲学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	能勢 桂介 (私たちが暮らす近現代社会の価値の核に自由平等があります。それを起点に世界を見るといろいろなことが分かります。)		
授業の達成目標	自己と他者／社会／自然の関係について、多角的に深く考える（哲学する）力を養う。		
概要	私たちの生活は身近な他者だけでなく、遠くの他者や世界、自然とつながり、関係しています。それらとどのように関わればいいのか？いっしょに哲学しましょう。この講義では、人前で話し、文を書いて自分の考えを表現することを練習します。		
テキスト	とくに指定しません。		
参考書	授業中に紹介します		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	履修態度（リアクション・ペーパーや各課題の提出40%）と筆記試験（小論文 60%）で評価します。成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。		
メッセージ	常識にとらわれず、自分の頭で考えることが哲学の最も大切なところです。この授業では知識の習得ではなく、自分の頭で考える態度を身につけ、表現しましょう。		
展開	講義名	講義内容	
1	はじめに：生きること・哲学すること	この講義の概要をお話しします。	
2	大人になること①	貴戸理恵『女子読みのススメ』を読んで、大人になることを哲学します。	
3	大人になること②	前講について講義し、議論し、感想を書いてもらいます。	
4	若い女性の困難①	『特集若年女性が直面する自立の危機』を読んで、女性の生きづらさ、男女平等について哲学します。	
5	若い女性の困難②	前講について講義し、議論し、要約してもらいます。	
6	勉強が苦手な人①	読み物を読んで、講義し、勉強について哲学します。	
7	勉強が苦手な人②	前講について講義し、議論し、要約してもらいます。	
8	男性問題①	読み物を読んで、講義し、男性の生きづらさについて哲学します。	
9	男性問題②	前講について講義し、議論し、意見を書いてもらいます。	
10	社会の基礎：人権①	日本国憲法などの人権文章を読んで、近代社会の基礎を学び、哲学します。	
11	社会の基礎：人権②	前講について講義し、議論し、意見を書いてもらいます。	
12	社会の基礎：人権③	前講について講義し、議論し、意見を書いてもらいます。	
13	環境を想う①	環境倫理について講義し、議論し、哲学します。	
14	環境を想う②	宮崎駿『もののけ姫』を見て、議論し、意見を書いてもらいます。	
15	おさらい／試験指導	今までのおさらいをし、最終課題の小論文を書いてもらいます。	

番号	2		
一般教育科目	人文科学	心理学	
授業名	心理学	対象学年： 1 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	後 期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	菊池 聡（私たちの日常的な思考や感情、行動の仕組みを明らかにして、仕事や生活をより良いものにすることをめざしています）		
授業の達成目標	自分の「ものの考え方（思考・認知）」の特徴を把握し、制御していくことを、認知している自分の認知という意味で「メタ認知」と呼びます。このメタ認知のスキルと態度を身につけます。		
概要	心理学が科学的に明らかにした「やる気の高め方」「ミスを防ぐ方法」「理解しやすい表現法」などを素材に、私たちが気がついていない日常的な認知の働きについて学び、それを自分の日常生活に役立てていく方法を考えます。		
テキスト	内容に応じて必要なプリントを配布します		
参考書	内容に応じて授業で説明します		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	1日の授業の中で、毎回、簡単な課題を課して提出してもらい、その評価6割と、最終試験の評価4割で10割の評価とします。この総合点で60点未満を不合格とします。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	皆さんにとって「心理学」は高校まで学んでこなかった新しい領域だと思います。その基本的な知識を身につけることで、生活のさまざまな場面で役に立つ授業にしたいと思っています。		
展開	講義名	講義内容	
1・2	イントロダクション心理学	「やる気が出ない時、どうするか」を例として、心理学の考え方と実践を学び、心理学授業の導入を行います	
3・4	知覚 見ることは考えること	意外なことに、心理学の基本は「物を見るしくみ」の理解にあります。そこに働いている高度な心の働きを理解します。	
5・6	ヒューマンエラーとつきあう	人間に失敗はつきものですが、時には労働災害も引き起こします。「注意する」だけではない、適切な対処法を学びます。	
7・8	防災減災とリスク認知	自然災害のリスクへの備えが重要な社会的課題になっています。リスクに対処する心理学について学びます	
9・10	メンタルヘルスを向上させる	勉学や仕事を継続していく上で、ポジティブなメンタル状態を維持することは重要であり、心理学の貢献できる領域です。	
11・12	わかりやすい表現を実現する	情報をわかりやすく表現し、適切にコミュニケーションを取るための認知心理学の基本を学びます。	
13・14	より良く考えるためのクリティカル・シンキング	思い込みに惑わされずに多面的に考えて、適切な判断を下す「クリティカル・シンキング」を学びます。	
15	試験	これまでの全領域の理解度を問うテストを実施します	

番号	3		
一般教育科目	人文科学	文学	
授業名	文学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	後期	実務経験教員による講義の有無： 無	備考：
担当講師	松岡 幸司		
授業の達成目標	頭の中で「わかった」と思っても、実は「わかっていない」ことが多い。そこで本講義では自分の理解を「書いて確認する」作業を重視する。毎回の講義の最後に、その回の授業の「ふりかえり」を書くことで自分の理解を確認するとともに、レポートの作成においても自己理解と他者理解の確認を行う。それによって「自分の理解を書いて伝えることができる」ようになる。		
概要	読書という行為は作品との「対話」である。そこには作品という「他者の理解」とそれを読んだ「自分の理解」が連動している。そうやって理解されたことを確認するための良い方法は、他人と話したり自分で書いたりすることである。そこで本講義ではグループワークや「書くという作業」を行い、講義や読書を通して理解・発見したことを自己確認できるようにしていく。		
テキスト	宮澤賢治 『セロ弾きのゴーシュ』 角川文庫		
参考書	授業中に随時紹介するほか、毎回講義のテーマに合った作品を紹介していく。		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示す。事後学習として、各時間の講義内容を復習する必要がある。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	毎回の受講シートの内容(40%)と、2回の小レポート(30%)、学期末レポート(30%)を総合して評価する。成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。総合した成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認める。		
メッセージ	私は信大農学部林学科の卒業生で、もともとは「文学」なんて縁がなかったのですが、なぜか「環境文学」というものを専門にしています。読書を通して他の人の感じ方を知りつつ、同時に自分の感じ方をはっきりとさせていきましょう！		
展開	講義名	講義内容	
1	「文学」というあいまいな言葉	「文学」というあいまいな概念についての理解を深める。	
2	「読書」という行為	「読書」という行為の持つ意味について理解を深める。	
3	読書における自己理解と他者理解	読書における自己理解と他者理解について考える。	
4	書くということ(1)	自分にとっての名作に関する自己理解と他者理解について考え、レポートに備える。(小レポート[1] 出題)	
5	文学の世界	文学作品に関わる、あるいは含まれる要素について理解を深める。	
6	宮澤賢治の世界	宮澤賢治の人生とその背景について理解を深める。	
7	「やまなし」を読む	宮澤賢治の童話作品を読む。自分の感想を大切にしつつ、他の読み方を知り、自己理解と他者理解の方法について考える。	
8	「雪渡り」を読む		
9	「オツベルと象」を読む		
10	書くということ(2)	ここまで授業をふりかえり、確認しつつレポートに備える。(小レポート[2] 出題)	
11	「グスコブドリの伝記」を読む(1)	宮澤賢治の童話作品を読む。自分の感想を大切にしつつ、他の読み方を知り、自己理解と他者理解の方法について考える。	
12	「グスコブドリの伝記」を読む(2)		
13	「セロ弾きのゴーシュ」を読む(1)		
14	「セロ弾きのゴーシュ」を読む(2)		
15	書くということ(3)	ここまで授業をふりかえり、確認しつつレポートに備える。(学期末レポート出題)	

番号	4		
一般教育科目	社会科学	法学	
授業名	法学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	前期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	栗原 悠 (県の法規担当課での経験を活かし、実例に即して法学の基本的事項について講義し、学生が法学を具体的イメージを持って理解できるようにします)		
授業の達成目標	①法学における基本的な思考方法を理解する ②法解釈や法適用の実例を通じて、ものごとを論理的に考える力を身につける ③日々発生する身近な紛争をどのように解決できるか、解決すべきかについて考えることができるようになる		
概要	六法を中心に法的解釈について学ぶ		
テキスト	ポケット六法		
参考書	なし		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。 試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	法学の初心者で、初めて法学を勉強しようとする人達にもわかりやすく		
展開	講義名	講義内容	
1	法学	法律学とは	
2	〃	法律の全体像をつかむ	
3~4	憲法	日本国憲法	
5	民法	民法総則	
6	〃	民法総則	
7	〃	物権法	
8	〃	物権法	
9	〃	債権法	
10	〃	債権法	
11~12	税法	所得税法、相続税法など	
13~14	その他の法律	不動産登記法、労働基準法、森林法など	
15	試験		

番号	5		
一般教育科目	社会科学	社会学	
授業名	社会学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	前期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	前田 豊 (信州大学他での講義経験を踏まえて、基本的な社会学の考え方や見方を指導します)		
授業の達成目標	様々な社会現象を読み解くうえでの基本的な社会学の見方や考え方を習得する		
概要	様々な社会現象を社会学の視点から解説する		
テキスト	『大学生のための社会学入門』篠原清夫・栗田真樹編著 晃洋書房		
参考書	『社会学』長谷川公一ら著 有斐閣		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
評価方法	筆記試験と授業中で行うレポート。 成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	社会学には、私たちの何気ない日常を言語化し、新たな発見を導く面白さがあります。		
展開	講義名	講義内容	
1	社会学とは何か	社会学の基本的な枠組みと考え方	
2	社会で生きる私	自己・地位役割・社会集団	
3	家族	家族社会学の視点	
4	性	ジェンダーとセクシャリティ、労働・教育との関係	
5	教育	教育社会学の視点	
6	格差	社会階層論の視点	
7	環境と自然災害	環境社会学と災害社会学の視点	
8	医療	医療社会学の視点	
9	逸脱行動	相互作用論と社会構築主義の視点	
10	地域	地域社会学の視点	
11	宗教	宗教社会学の視点	
12	メディア	メディア社会学の視点	
13	グローバル社会	グローバリゼーションとエスニシティ	
14	社会調査	社会調査の基礎	
15	試験	※ 進捗、および受講生の理解で授業内容を変更する	

番号	6		
一般教育科目	社会科学	経済学	
授業名	経済学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	後期	実務経験教員による講義の有無： 無	備考：
担当講師	高倉 啓		
授業の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マクロ経済学に関する基礎的な知識を獲得する。</li> <li>・ニュースや新聞などで扱われる経済現象に関して、マクロ経済学の考え方を適用し、その背後にあるメカニズムについて説明することができるようになる。</li> </ul>		
概要	この経済学特講の授業においては、なぜ一部の国々では急速に所得が増大し、他の国々は貧困に陥ったままなのか、なぜ一部の国々ではインフレ率が高かったのに、他の国々では物価が安定していたのか、なぜどの国でも景気後退や不況が生じるのだろうか、政府の政策は、貧困やインフレ、景気後退といった状況をどのようにして解決することができるのだろうか、といったマクロ経済学の問いを考察します。これらの問いに答えるため、マクロ経済学の基礎について学びます。		
テキスト	講義スライドや講義ノートを配布し、それらに基づいて授業を行います。		
参考書	二神孝一、マクロ経済学入門、日本評論社 ISBN：9784535041226		
事前事後の学習	授業中に出题されるクイズに関して、自力で解けるよう予習・復習して下さい。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	最終授業時の試験及び平常成績から総合評価する。演習問題（Ⅰ）（20%）、演習問題（Ⅱ）（20%）、演習問題（Ⅲ）（20%）、試験（40%）の割合で成績を評価する。		
メッセージ	質問やわからない部分については、メールで対応します。 E-mail:takakura@leh.kagoshima-u.ac.jp		
展開	講義名	講義内容	
1	マクロ経済学の役割	マクロ経済学で登場する言葉について、理解する。	
2	経済の活動水準を測る1	国内総生産について理解する。	
3	経済の活動水準を測る2	名目GDPと実質GDPについて理解する。	
4	物価の測り方	GDPデフレーターと消費者物価指数について理解する。	
5	経済の成長1	生産水準の決定について理解する。	
6	経済の成長2	ソローモデルについて理解する。	
7	貯蓄と投資を結ぶもの—資金市場	資金市場について理解する。	
8	貨幣と日本銀行	貨幣の性質や日本銀行の役割について理解する。	
9	インフレーション	インフレーションは発生する理由について理解する。	
10	開放経済—海外との取引の描写	海外との取引と為替レートについて理解する。	
11	開放マクロ経済学	海外との取引を考慮した資金市場について理解する。	
12	短期の経済分析1	総需要と総供給について理解する。	
13	短期の経済分析2	財政政策と金融政策について理解する。	
14	失業	失業が発生する理由について理解する。	
15	財政赤字はいつまで続けられるか	財政赤字と政府の予算制約について理解する。	

番号	7		
一般教育科目	自然科学	数学	
授業名	数 学	対象学年： 1 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	前 期	実務経験教員による講義の有無：有	備考：
担当講師	橋本 智		
授業の達成目標	① 三角法や図形の基礎知識を習得し、その応用力も身につける。 ② 三角法の活用を通して計算法則や正確な計算処理を身につける。 ③ 三角法や図形の性質を学ぶことを通して数学的なものの見方、考え方を理解する。		
概 要	三角法（三角比・三角関数）や図形について、考え方や法則を学ぶ。		
テキスト	三角比と図形の集中講義 （東京出版）		
参 考 書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習すべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	評価については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）		
成績評価の方法	毎回の受講シートの内容(40%)と、筆記試験(60%)を総合して評価します。成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。総合した成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	√計算など計算法則を初心から学ぶように復習を取り入れながら、分かりやすく説明します。		
展 開	講義名	講義内容	
1	三角比①	三平方の定理・三角比の導入	
2	三角比②	三角比の基礎	
3	三角比③	三角比の拡張（鈍角の三角比）・相互関係	
4	三角比の応用①	正弦定理とその応用	
5	三角比の応用②	余弦定理とその応用	
6	三角比の応用③	正弦定理・余弦定理	
7	三角比の応用④	三角形の面積	
8	三角比の応用⑤	図形の計算	
9	三角比の応用⑥	測量	
10	三角比の応用⑦	三角関数	
11	図形の性質①	三角形の性質	
12	図形の性質②	円の性質①	
13	図形の性質③	円の性質②	
14	図形の性質④	空間図形	
15	試験		

番号	8		
一般教育科目	自然科学	物理学	
授業名	物理学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	花井 嘉夫 (長野県立高校での物理科目講義経験を生かし、物理学の基礎知識を身につけ物理概念を理解できるように指導する)		
授業の達成目標	①物理の運動と力やエネルギーの関係について理解できる ②物理に関係する林業事象について、物理の知識技能を応用できる力を身につける ③物理学の学習を通じて、科学的な見方・考え方を育成する		
概要	運動・力学・エネルギーを中心とした理解と演習		
テキスト	「考える 物理基礎」マイノート付 啓林館		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする 試験成績の評価は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	初めて学ぶ者にもわかりやすく、また数学的解法についてもわかりやすく説明する		
展開	講義名	講義内容	
1	一次元の運動 (1)	1) 等速度運動 2) 問題解法	
2	一次元の運動 (2)	1) 等加速度運動 2) 問題解法	
3	一次元の運動 (3)	1) 落下運動 (1) 2) 問題解法	
4	二次元の運動 (1)	1) 落下運動 (2) 2) 問題解法	
5	二次元の運動 (2)	1) 落下運動 (3) 2) 問題解法	
6	力 (1)	1) 力のつりあい 2) 問題解法	
7	力 (2)	1) 運動の法則 2) 問題解法	
8	力 (3)	1) 摩擦 2) 問題解法	
9	力 (4)	1) 力のモーメント 2) 問題解法	
10	エネルギー (1)	1) 力学的エネルギー保存の法則 (1) 2) 問題解法	
11	エネルギー (2)	1) 力学的エネルギー保存の法則 (2) 2) 問題解法	
12	エネルギー (3)	1) 熱エネルギー 2) 問題解法	
13	エネルギー (4)	1) 電気エネルギー (1) 2) 問題解法	
14	エネルギー (5)	1) 電気エネルギー (2) 2) 問題解法	
15	試験	まとめ	



番号	9		
一般教育科目	自然科学	化学	
授業名	化学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	前期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	竹内 あかり		
授業の達成目標	化学の一般的基本知識を身につける。		
概要	日常生活で見られる身近な化学物質や化学反応を取り上げながら、化学の基礎的な知識を学ぶ。		
テキスト	「教養の化学 —暮らしのサイエンス—」 D.P. Heller, C.H. Snyder 著 渡辺 正 訳 東京化学同人		
参考書	なし		
事前事後学習	〈事前学習〉内容によって、講義日が前後する場合がある。各時間の最後に、次回に扱う内容を示すので、教科書の該当部分を確認しておくこと。〈事後学習〉教科書の演習問題を解くこと。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本とする。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。 試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認める。		
メッセージ	身のまわりの化学物質や反応に興味をもってみてください。		
展 開	講義名	講義内容	
1	化学の世界	暮らしと化学、メートル法とSI単位	
2	原子と元素	原子の姿、同位体と原子量、周期表	
3	化学結合	イオン結合と共有結合、化合物の命名法	
4	エネルギーと暮らし	内燃機関、化石燃料と炭素循環、温室効果ガスと気候変動	
5	食品のエネルギー	エネルギー量と代謝、油脂、炭水化物、タンパク質	
6	物理変化と化学変化	三態と状態変化、気体の性質、化学変化	
7	水と溶液	溶液の濃度、身のまわりの水	
8	酸と塩基	酸・塩基・中和、pH、暮らしの中の酸・塩基	
9	放射能の化学	放射壊変の種類、放射線の作用と利用、原子力の利用	
10	電子移動とエネルギー	酸化と還元、レドックス反応と電池・電解、燃料電池と太陽電池	
11	キレイの化学	石鹼と界面活性剤、化粧品とスキンケア	
12	くすりと遺伝子	市販薬、処方薬、遺伝子の化学	
13	石油化学と環境汚染	高分子の用途と化学、環境汚染と廃棄物	
14	食品の微量成分	微量栄養素、食品添加物	
15	試験		

番号	10		
一般教育科目	自然科学	生物学	
授業名	生物学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	前期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	高田 啓介 (信州大学での講義経験を生かし、生物学の知識を身につけられるよう身近な生き物を例に、わかりやすく指導します。)		
授業の達成目標	生命の本質である自己維持と自己複製の機構についての基礎概念を理解する		
概要	生物学の基礎を学ぶ		
テキスト	「コア講義生物学」 田村隆明著 裳華房		
参考書	「生物学」 石川 統 編 東京化学同人		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	授業中に不定期に行う小テストや、宿題として出されたレポート、及び期末筆記試験を基に成績評価を行う。100点法で評価を行い、60点未満を不合格とする。 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	生命の本質を理解し、ヒトと自然との調和を目指そう		
展開	講義名	講義内容	
1	生物の種類	1) 生命の誕生 2) 種とは 3) 3ドメイン説	
2	遺伝と遺伝子	1) メンデルの法則 2) 連鎖 3) 遺伝物質の探求	
3	細胞とそれに含まれる物質	1) 生物の基本単位：細胞 2) アミノ酸とタンパク質 3) ヌクレオチドと核酸	
4	DNA複製と細胞の増殖	1) 染色体とクロマチン 2) DNA複製のしくみ 3) 細胞分裂	
5	DNAにある遺伝情報を取り出す：遺伝子発現	1) RNA合成「転写」 2) 転写の調節 3) 蛋白質合成「翻訳」	
6	次世代個体を誕生させる：生殖と発生・分化	1) 生殖：個体の増殖 2) 配偶子の形成 3) 動物の発生：受精卵から胚、成体への成長	
7	生命を支える化学反応	1) 栄養と代謝 2) グルコースからエネルギーを取り出す 3) 生命活動におけるエネルギー通貨：ATP	
8	動物の器官	1) 消化器系：消化と吸収 2) 腎臓：体液の調節と毒素の排出 3) 筋肉：エネルギーを運動に変える	
9	多細胞生物個体の統御	1) 恒常性の維持 2) 神経系 3) ホルモン	
10	外敵の侵入とその防御	1) 細菌 2) ウイルス 3) 免疫	
11	植物の生き方	1) 光合成 2) 窒素同化 3) 種子植物の生殖	
12	生物の集団と生き方	1) 個体群の増殖戦略 2) 個体群間の相互作用 3) 生物群集の構造	
13	生物の進化	1) 生物の出現 2) 生物の進化 3) ヒトの起源	
14	先端バイオ技術と社会のかかわり	1) 遺伝子を操作する 2) 細胞を操作する 3) 個体や人間への応用	
15	試験		

番号	11-1		
一般教育科目	自然科学	情報処理学	
授業名	情報処理学 1	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	後期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	松村 哲也 (信州大学農学部における教育研究情報システムの構築・運用・管理・教育業務に携わった実務経験ならびに、信州豊南短期大学・信州木曾看護専門学校における情報処理分野の講義経験を生かし、コンピュータとインターネットの活用法を身につけられるよう実践的に指導します。)		
授業の達成目標	① 滑らかでスピーディな文字入力ができる。 ② 安全なインターネットの利用法について理解し、他者に説明できる。 ③ MS Word ,Excel ,Powerpointの基本操作を習得する。 ④ 動画の撮影・編集・制作の基本技術を習得する。 ⑤ 動画を活用したプレゼンテーション技術を習得する。		
概要	WindowsPCの操作に慣れることから始め、インターネットの安全な活用法と、Office (Word、Excel、Powerpoint)の基礎を身に付けるとともに、動画を活用したプレゼンテーション技術を実習形式で学びます。		
テキスト	トプスタジオ(著)『世界一やさしいワード2021』(株)イプス ISBN:978-4-295-01353-2. トプスタジオ(著)『世界一やさしいエクセル2021』(株)イプス ISBN:978-4-295-01352-5. 講師作成資料		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習して来るべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者) 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者) 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者) 可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者) 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)		
成績評価の方法	原則として、筆記試験・製作物および履修態度にて成績を評価します。成績の評定は、100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	農林業の分野でも、スマホ、パソコン、インターネットといったICTの活用が当たり前になってきました。実際にスマホやPCを操作しながら基本的な知識と技術を身に付けましょう。		
展開	講義名	講義内容	
1	情報処理の歴史	「情報処理」とは／機械を使った情報処理／コンピュータの発明と進歩／現代のコンピュータ	
2	Windowsの基本操作	起動・終了／キーボードとマウスの使用法／ファイルシステム／コピーと移動／カット&ペースト	
3	WordとExcelの基本操作 1	MS-Officeアプリ(Word & Excel)共通操作の習得	
4	WordとExcelの基本操作 2	画像・グラフ・罫線の組み込み／企画書の作成	
5	インターネットを安全に活用する 1	インターネットの構造／コンピュータウイルスの被害	
6	インターネットを安全に活用する 2	インターネット犯罪対策／法律への準拠	
7	動画の制作とWebサービスの活用 1	スマートホンを活用した動画の制作・編集	
8	動画の制作とWebサービスの活用 2	動画を用いた情報発信	
9	Powerpointでプレゼンテーション	画像・グラフの組み込み／アニメーション／プレゼンテーション資料の作成	
10	Web検索と生成系AIを活用した情報収集	正確な情報を選び分ける能力「情報リテラシー」	
11	試験		
		※進度に応じて授業内容を調整することがあります。	

番号	11-2		
一般教育科目	自然科学	情報処理学	
授業名	情報処理学 2	対象学年： 2 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	岡田 充弘 (県職員の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	文書作成・表計算・プレゼンテーション機能の応用技術を習得している。		
概要	Word、Excel、Powerpointの応用として実際に資料を作成する。		
テキスト	配布プリント、オンライン資料		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してこべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	1) 実技、2) 履修態度、3) 修得度により成績を評価します。 成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。		
メッセージ	実際にパソコンソフトの操作を習得して、即戦力になる技術で資料を作成しましょう		
展 開	講義名	講義内容	
1	Windowsの基本操作確認	1. Wordでの簡易な文書作成 2. Excelでの簡易な計算表作成	
2	ビジネスメールの作成	1. ビジネスメールの基礎と 2. 相手に伝わりやすいメールとメールを使う場合のExcelでの簡易な計算表作成	
3	Wordで文書作成 (応用)	Wordの機能を活用した文書 (報告書等) 作成	
4	Excelで表計算、グラフ作成 (応用)	関数等を用いた計算、グラフの作成の応用	
5	CADの基礎	1. CADの基礎 2. CADを使って、図表を描画する	
6	PowerPointでプレゼンテーション作成 (応用)	1. 相手に伝えるプレゼンテーション資料作成の基礎 2. プレゼンテーションソフトの機能の利用	
7	PowerPointでプレゼンテーション作成 (応用)	1. 自主研究発表会資料作成 2. 相手に伝えるための発表方法	
6	試験	自主研究発表会での発表、報告書の作成	
	※履修状況に応じて講義の内容を変更します		

番号	12-1		
一般教育科目	外国語	英語	
授業名	英語 1	対象学年： 1 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	後 期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	Frederick J. Carruth (米国カリフォルニア州出身の講師によるネイティブな英会話講義をします。)		
授業の達成目標	日常的な話題について英語で会話ができる。		
概要	日常的な話題について英語で会話する。		
テキスト	「English Listening and Speaking Patterns 1」 Andrew E. Bennett 著 (Nan' un-do)		
参考書	辞書を持参すること。		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評価は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。		
メッセージ	授業には毎回出席すること。テキストとノート、辞書を持参すること。		
展 開	講義名	講義内容	
1	Guidance	Guidance	
2	Family	Talking about what we want	
3	Family	Talking about what we want	
4	Friends	Talking about situations	
5	Culture	Giving examples	
6	Education	Showing empathy	
7	Sports	Talking about interests	
8	Work	Talking about plans	
9	Food	Talking about time	
10	Studying English	Talking about the truth	
11	Health	Talking about how people feel	
12	Clothes	Responding to circumstances	
13	Clothes	Responding to circumstances	
14	Review	Review	
15	試験		

番号	12-2		
一般教育科目	外国語	英語	
授業名	英語 2	対象学年： 2 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	前期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	Frederick J. Carruth (米国カリフォルニア州出身の講師によるネイティブな英会話講義をします。)		
授業の達成目標	英語1につづき、日常的な話題について英語で会話ができる。		
概要	日常的な話題について英語で会話する。		
テキスト	「English Listening and Speaking Patterns 1」 Andrew E. Bennett著 (Nan' un-do)		
参考書	辞書を持参すること		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してこべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。		
メッセージ	授業には毎回出席すること。テキストとノート、辞書を持参すること。		
展開	講義名	講義内容	
1	Guidance	Guidance	
2	Traveling	Recent events and events happening soon	
3	Music I	Asking and telling people to wait	
4	Music II	What kind of music do you like?	
5	Movies	Talking about good news	
6	Shopping	Softening phrases	
7	Internet	Teaching and learning skills	
8	Weather	Talking about future weather	
9	Feelings	Understanding each other	
10	Government	What everybody and nobody is doing	
11	Art	Talking about art	
12	The future I	Weighing sides	
13	The future II	Explore an aspect of future life	
14	Review	Review	
15	試験		

番号	13		
一般教育科目	芸術	芸術	
授業名	彫刻	対象学年： 1学年	単位数： 1単位 講義形態： 実習
講義時期	後期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	横山 忠 (数多くの仏像を彫った知識を生かして、仏像彫刻の愉しみを伝えます。)		
授業の達成目標	仏像彫刻を通して木材の特性を習得する。		
概要	様々な道具を使い仏像（立体像）の彫刻に取り組む。		
テキスト	講師作成資料		
参考書	独自作成資料		
事前事後の学習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	1) 実技、2) 成果品、3) レポート、4) 履修態度の修習得度60%、出席時間(態度良に限る)40%、「目標」の意に適っておれば、作品の出来栄は問わない。作成態度を重視する。成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。		
メッセージ	この授業はプロになる為のものではなく、立木や材木に携わる人の、根源的心構えを自覚して頂く。		
展開	講義名	講義内容	
1	第一段階	彫刻刀を手にした時の、基本的な心得	
2	木取り	仏像の木取り	
3	輪郭を決める		
4	細部へ	マンツーマン方式による実技指導	
5	仕上げ	<p>1) チリメン彫り</p> <p>2) 仕上がりの良さ、美しさ、迫力に力点</p> <p>3) 各自の彫った仏が、君に何を語りかけているのか？を問う。</p>	

番号	14		
一般教育科目	保健体育	保健体育	
授業名	保健体育	対象学年： 全学年	単位数： 1単位 講義形態： 実習
講義時期	通年	実務経験教員による講義の有無： 無	備考：
担当講師	学年担任		
授業の達成目標	森林・林業界にて活躍できる基本的な体力と、チームワーク形成能力を身につける。		
概要	有酸素運動など基礎トレーニングと球技などチームワーク形成に役立つ競技を行う。		
テキスト			
参考書			
事前事後の学習			
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	出席時間(態度良に限る)40%、体力維持・向上努力40%、技能・技術20%とし、総合評価を行い、成績評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。		
メッセージ	社会人として長く健康で働くには、基礎体力の維持・増進が大切です。決してハードではなく、日常的に運動する習慣を身につけましょう。		
展開	講義名	講義内容	
1・2	体力テスト	基礎体力の測定及び持久走(3km程度) 等	
3・4	ストレッチ、ジョギング	林大周辺	
5・6	バスケットボール、硬式テニス	木曽町 町民体育館・テニスコート	
7・8	ソフトボール	本校グラウンド・木曽町野球場	
9・10	バレーボール	木曽町 町民体育館	
11・12	バドミントン	木曽町 町民体育館	
13・14・15	持久走(3km程度)	幸沢林道(木曽町駅伝大会選手選考会を兼ねる。)	